

ヤクシカ担当者会議打合せ（検討の場 第1回）

検討の場まとめ

日時：平成30年7月6日（金）15：00～16：00

場所：鹿児島県産業会館

議 題

- 1 シャープシューティングの体制によるヤクシカ計画捕獲 試験捕獲について
- 2 西部地域における密度操作実験計画について
- 3 捕獲について
- 4 捕獲した鳥獣の処理について

議事まとめ

- 1 今年度実施予定のシャープシューティング体制による試験捕獲について、関係機関での情報共有をおこなった。
 - ・射手に対して強力なサポートとなるポインターの力量が求められる。ポインターの価値を可視化していく必要がある。
 - ・昨年同様に安全には十分注意する必要がある。
- 2 西部地域における密度操作計画について
 - ・今、どうこの計画ではないが、今後、地元地域、研究者の理解を得ながら段階を踏んで、慎重に進めていくことが重要。
- 3 平成30年度捕獲について
 - ・平瀬国有林、宮之浦嶽国有林において実施することとしている。
 - ・鹿児島県では昨年度、指定管理鳥獣捕獲等事業を実施して71頭捕獲した平成30年度に実行するかどうかは未定。
- 4 捕獲した鳥獣の処理について
 - ・鈴木先生から、長崎県で研究している飼料、肥料としての再資源化について、また、小泉先生からは、平成26年の鳥獣保護管理法の改正により、放置が可能となったが、そのためには様々な調査確認が必要となること、再生利用として肉骨粉の肥料利用について、関係法令等のご助言を頂いた。
 - ・屋久島町には、処理施設が2箇所あるが、ジビエとして使用する場合の捕獲して処理するまでの基準時間及び1日の処理能力について報告がなされ、各行政機関においても検討していくことを確認。